

2021-2022

Student Handbook

TAMA UNIVERSITY

School of Global Studies

学部長あいさつ

1. 挨拶

グローバルスタディーズ学部(以下:「SGS(School of Global Studies)」)へようこそ。皆さんの将来はここが出发点です。SGSは平成19(2007)年4月に創設され、本年3月18日に11期生が卒業し、15年目を迎えます。

多摩大学は1989年創立の大学です。平成という年号と共にスタートした多摩大学の建学の理念は国際性・学際性・実働性の3つでした。SGSもその精神のもと、学際性・実働性を尊重し、特に国際的に活躍する人材を育てるために設立されました。

学生にとっても、社会にとってもより分かりやすい学部にするために、先ずはSGSのミッション(使命・存在理由)を次のように定義しました。

グローバルスタディーズ学部のミッション

『グローバル(グローバルとローカル)な問題を解決し、グローバルな舞台で活躍する人材を育てる』

皆さんを待つ社会には「グローバルな問題を解決できる人材を育て提供し、学生の皆さんには「グローバルな舞台で活躍してもらうために支援します」という意味です。

今では、地域的な問題であっても一晩で国際問題にまで発展することは多々あります。インターネット、スマートホン、テクノロジーの急速な発展によって問題が起こっている地域に行かずともそれについて聞き、見る、知ることができます。その逆に、外で起こっていることによって私たちも影響されます。SGSで学んだ皆さんは、外へ出て、色々なことに挑戦し、そうした壁を乗り越え、グローバルな舞台に立ち、グローバルな人材として世の中に貢献できるよう期待しております。在学中、授業内では間違いを恐れず、4年間そうした授業の中から修正、訂正したことを思い出し、間違いから学ぶようにしてください。さらに今までやらなかったことに積極的に挑戦するようにしてください。そのためにSGS教職員は学生のため全力を尽くします。

2. SGSのキャンパスライフを楽しむには

向こう4年間のキャンパスライフを楽しむために、まずは体調管理を心掛け、とりわけ4-5月のゴールデンウィーク以降から7月末までは注意しましょう。この間の10~11週間は、高温多湿の日々が多いので、ペース配分に心掛けつつ、ゆっくり、確実に、諦めずに頑張りましょう。

信頼できる友人を多く作ることによって、キャンパスライフはさらに充実することでしょう。そのためには挨拶から始め、常に明るく前向きに大きな声で挨拶をすること。笑顔を絶やさないようにすることにも心掛けて、助け合いの精神を忘れずに、他者との関わりから自信を付け、イベントに参加し、前向きになりましょう。向こう4年間のキャンパスライフを人生で最も楽しい4年間にしてください。

最後に、皆さんマナーを守りましょう。駐車場、教室内や廊下では静かに、キャンパス外での近所迷惑になりそうなことは止めましょう。このキャンパスは皆さんのキャンパスです。譲り合いの精神を思い起こしてください。

3. SGS における学習

(1) 英語によるコミュニケーション力の向上

まず、英語によるコミュニケーション力の向上が SGS での第一歩です。初級レベルの英語科目からすでに培った英語力をさらに向上させる科目まであります。上述したように上達の鍵は落ち着いて、着実に取り組むことです。語学を習得することによって、「他者」は何を考えているのか、どう評価しているのかを理解することができます。相手の考えや思いを知るとは、専門分野は異なっても将来非常に役立つスキルです。

(2) グローカル人材になるには

グローバルスタディーズの基本は、地元を知り、世界に発信することです。または「他者」を知ることですが、必ずしも外国や外国人であるとは限りません。地元を知ること重要で、異文化理解、習慣、価値観の違いなども理解する必要があります。そして、つぎにそうした違いを受け入れられるかを考え、受け入れられないならグローバルな舞台でグローバル人材として活躍することは難しいでしょう。言うまでもありませんがこれは容易なことではありません。短期・長期の海外留学や、留学生との交流、インターンシップ、藤沢市および藤沢観光協会との提携などを通じた社会との接点を模索することは極めて大切です。

(3) キャリア教育

多摩大学は実学、即ち、実際の社会に役立つ学問を学んでもらうことを大切にしています。SGS の 1 期生は厳しい就職事情にあったものの比較的高い就職率を上げることができました。その理由は、国内もグローバル化しており SGS で提供しているような学問と経験を求めていること、そして、少人数教育で力が付くコミュニケーション力が認められているからです。

SGS の 1 年次のキャリア形成論、2 年次を中心とするインターンシップはキャリア教育として大きな評価を得ています。これらの科目をしっかり履修することに加え、短期・長期の海外留学やコミュニティ活動が、社会からの評価を得ます。正規の科目に加え、SGS では、正課外の就職指導にも力を入れています。

(4) ゼミナール制度

2014 年より 3 年～4 年生主体のゼミナール制度が導入されました。これはゼミ担当教員の専門分野の知識の指導を受け、社会の仕組みを修得しながら成長するシステムです。また、単独または複数のゼミのコラボによる海外短期留学プログラムに参加することもでき、引率教員の指導のもと知識の向上を図ることを目的としています。ゼミでは先輩はリーダーシップ力向上、下級生は先

輩から指導を受けます。また連絡事項の伝達、きめ細かな指導、就職に関するアドバイスなど様々な支援があります。

(5) 課外活動

4年間の大学生活を満喫するためには、課外活動を積極的に取り入れてください。活発に、そして熱心に学内外で活動することをお薦めします。サークル活動、地域貢献活動、ボランティア活動、学園祭運営など、学生時代にしかできない活動です。こうした課外活動で仲良くなった先輩、そして後輩などは後に一生の友人になることもあり、人の輪を大切に、こうした仲間作りのスキルは将来必ず役立ちます。また、参加したいサークルがないようでしたら、友人を誘い合い、是非ともサークルを作ってください。これが手作り大学・学部の良さです。このことを通して、他者と協力することを学び、様々な壁を乗り越える経験はリーダーシップにつながり、また他者と妥協することも学べます。他者と一緒に(チームとして)何かを築くことは、将来社会人になった時には身に付けておきたいスキルです。

SGSはまだ若い学部ですので、皆さんがSGSを築くこととなります。この学部の歴史をより強固なものにするために一役かったださることを期待しております。したがって、アクティブに、チャレンジ精神旺盛に、近い将来SGSに在籍したことに誇りを持てるようになることを願っております。

多摩大学副学長(兼)

グローバルスタディーズ学部 学部長

安田 震一

(ウィリアム・シャング)

	1
	3
I	
SGS	4
2021–2022 Academic Calendar	5
	9
II	
1.	
	10
	11
2.	
1	13
2	13
3	13
3.	
1	14
2	14
3	15
4.	
1	15
2	15
3	15
4	15
5	16
6	17
7	17

	8	18
	9	18
	10	19
5.		
	1	19
	2	19
	3	22
6.		
	1	23
	2 ()	23
	3	23
	4	24
7.		
	1	25
	2 GPA	26
	3 GPA	27
	4	27
	5	27
8.		
	1	27
	2	27
	3	28
	4	28
9. TOEIC		
	1 TOEIC IP	30
	2	30
10.		31
11.		31
		32-35

III SGS

1. ()		
	1	36

	2	37
	3	38
	4	39
	5	40
	6 ()	41
	7	42
	8	43
	9	46
	10	46
	11	47
	12	47
	13	48
	14	48
	15 Suggestion Box	48
	16 SGS	49
	17	51
2.		
	1	55
	2	56
	3	56
	4	57
	5	57
	6 AED	58
3. SGS	()	
	1	59
	2	59
	3	59
	4	60
	5	60
	6 MyLibrary	62
	7	62
	8	62
	9 SGS	63

4.

		65
1		65
2	W201.W202	66
3		66
4	Microsoft	67
5		67
6		67
7	T-NEXT	67
8		68
9	VPN	68
10		68

5.

1		69
2		69

6.

1		70
2		71
3		71
4		71
5		71
1		72
2		72
3	I Love Project	72

8

		73
--	--	----

IV

		75
		85
		86
		88

1 2 3. (Complete Floor Plan of SGS Campus)	91-93
--	-------

Office